



安全データシート

Page 1 of 11

LOCTITE SF 770 Primer (Upgrade)

SDS No. : 677038

V001.4

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 18. 04. 2024

発行日: 21. 04. 2025

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2733437
製品名 : LOCTITE SF 770 Primer (Upgrade)
推奨される用途 : プライマー
会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
引火性液体	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	中枢神経系

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H225 引火性の高い液体及び蒸気。 H319 強い眼刺激。 H336 眠気又はめまいのおそれ。
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P233 容器を密閉しておくこと。 P240 容器を接地しアースを取ること。 P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 P242 火花を発生させない工具を使用すること。 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P370+P378 火災の場合：乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
酢酸イソプロピル	>= 90 - <= 100 %
2-プロパノール	>= 0.1 - < 1 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	直ちに石けんと水で十分に洗うこと。 発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。 再使用する場合には洗濯をすること
眼に入った場合:	直ちに多量の水で最低でも15分間眼を洗うこと。 医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	無理に吐かせないこと。 医師の診察を受けること

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。

火災時の特有の危険有害性： 炭素酸化物

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置： 水は閉じた容器の冷却に使用し、高熱にさらされた際の圧力の増加と自然発火または爆発の可能性を防止する。
自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 全ての点火源を排除すること。
製品が下水または排水溝に入らないようにすること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 適切な換気装置を設置すること。
廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。
不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。
除去作業を行う時は、第8項の暴露防止及び保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い
安全取扱い注意事項** 適切な換気装置下で使用する。

眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。
使用後はよく洗うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list

ヘンケルジャパン株式会社

酢酸イソプロピル [酢酸イソプロピル]	100		管理濃度:		JPISHL OEL
酢酸イソプロピル [酢酸イソプロピル]	100		時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリ/備考	Regulatory list
酢酸イソプロピル	150		短時間ばく露限度 (STEL) :		ACGIH
酢酸イソプロピル	100		時間加重平均 (TWA) :		ACGIH

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。**保護具:****呼吸用保護具:**

曝露許容限度を上回る潜在性がある場合、NIOSH 認可の呼吸マスクを着用する。
呼吸マスクの使用 (29 CFR 1910.134) に対する OSHA 規制を順守すること。

手の保護具:

EN374で指定する耐薬品の防護手袋。短期の接触や飛び跳ねに都合がよい材質 (推奨: EN374で指定しているとおり、少なくとも防護指針2以上、浸透性は30分以上): ニトリルゴム (IIR>0.4mm 厚さ) 長期の接触や直接接触の場合の材質 (推奨: EN374で指定しているとおり、少なくとも防護指針6以上、浸透性は480分以上): ニトリルゴム (IIR>0.4mm 厚さ)。ここに説明した情報は書物に見つかる情報や手袋のメーカーが発行する情報を元に作成したり、もしくは同様な物質の相似点を基に、作成したものである。実際の現場の経験では様々な外部影響 (たとえば温度) により耐薬品手袋の耐久性は EN374で説明している浸透時間よりかなり短い場合がある。損傷している兆候が出ている手袋は取り替える。

眼の保護具:

飛沫の危険がある場合はサイドシールド付きの安全眼鏡もしくは化学的安全ゴーグルを着用すること。
飛び散ったりする可能性がある場合は、フルフェイス型の保護マスクを着用すること。

皮膚及び身体の保護具:

耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态:	液体	色:	透明, 透明
pH:	該当なし, 混合物は (水に) 不溶	臭い:	芳香臭
沸点:	82 °C (179.6 °F)	融点:	該当なし, 製品は液体
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	0.87 g/cm ³
引火点:	4 °C (39.2 °F)	蒸気圧:	データ無し/対象外

爆発範囲（下限）:	データ無し/対象外	爆発範囲（上限）:	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性: 酸化剤

避けるべき条件 熱、ガス、火花および他の点火源。

危険有害な分解生成物: 炭素酸化物

11. 有害性情報

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
酢酸イソプロピル	LD 50	6.95 g/kg	ウサギ	
酢酸イソプロピル	LD 50	6.75 g/kg	ラット	
酢酸イソプロピル	LD 50	3.0 g/kg	ラット	
酢酸イソプロピル	LD50	6,750 mg/kg	ラット	other guideline:
2-プロパノール	LD 50	5,045 mg/kg	ラット	
2-プロパノール	LD 50	3,600 mg/kg	マウス	
2-プロパノール	LD 50	4,797 mg/kg	犬	
2-プロパノール	LD 50	6,410 mg/kg	ウサギ	
2-プロパノール	LD 50	4.7 g/kg	ラット	
2-プロパノール	LD 50	4.5 g/kg	マウス	
2-プロパノール	LD 50	8.0 g/kg	ウサギ	
2-プロパノール	LD 50	5.03 g/kg	ウサギ	
2-プロパノール	LD50	5,840 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性（経皮）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
酢酸イソプロピル	LD50	> 17,400 mg/kg	ウサギ	指定されていません
2-プロパノール	LD 50	12,800 mg/kg	ウサギ	
2-プロパノール	LD50	12,870 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
酢酸イソプロピル	LC 50	37,000 mg/m ³	吸入		マウス	
酢酸イソプロピル	LC 50	50,600 mg/m ³	蒸気	8 h	ラット	
酢酸イソプロピル	LC50	50.6 mg/l	蒸気	8 h	ラット	指定されていません
酢酸イソプロピル	LC 50	27,894 mg/m ³	吸入		ラット	
酢酸イソプロピル	LC 0	32000 ppm	蒸気	30 min	ラット	

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
2-プロパノール	slightly irritating	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
2-プロパノール	Category II		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
2-プロパノール	not sensitising	Buehler test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)

生殖細胞変異原性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
酢酸イソプロピル	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		指定されていません
2-プロパノール	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
2-プロパノール	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
2-プロパノール	陰性	intraperitoneal		マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
2-プロパノール		inhalation: vapour	104 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
2-プロパノール	NOAEL P 853 mg/kg	1世代試験	oral: drinking water	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 415 (One-Generation Reproduction Toxicity Study)
2-プロパノール	NOAEL P 500 mg/kg NOAEL F1 1,000 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
2-プロパノール		inhalation : vapour	104 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)

誤えん有害性：

混合物は、粘度データに基づいて分類されている。

有害物質	粘度（キネマティック）値	温度	試験方法	備考
2-プロパノール	1.8 mm ² /s	40 ° C	ASTM Standard D7042	

12. 環境影響情報

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酢酸イソプロピル	LC50	400 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
2-プロパノール	LC50	> 9,640 - 10,000 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酢酸イソプロピル	EC50	> 1,000 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
2-プロパノール	NOEC	30 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
2-プロパノール	EC50	> 1,000 mg/l	96 h	Scenedesmus subspicatus (new name: Desmodesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
2-プロパノール	NOEC	1,000 mg/l	96 h	Scenedesmus subspicatus (new name: Desmodesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
2-プロパノール	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12.2. 残留性と分解性

ヘンケルジャパン株式会社

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
酢酸イソプロピル	readily biodegradable	aerobic	72 %	20 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)
2-プロパノール	readily biodegradable	aerobic	70 - 84 %	30 d	EU Method C. 4-E (Determination of the "Ready" Biodegradability Closed Bottle Test)

12.3. 生態蓄積性

データなし

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
酢酸イソプロピル	1.28		指定されていません
2-プロパノール	0.05		OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 3
Packing group: II
UN no.: 1220
Label: 3
EmS: F-E,S-D
Seawater pollutant: -
Proper shipping name: ISOPROPYL ACETATE

Air transport IATA:

Class:	3
Packing group:	II
Packing instructions (passenger)	353
Packing instructions (cargo)	364
UN no. :	1220
Label:	3
Proper shipping name:	Isopropyl acetate

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物	酢酸イソプロピル 2-プロパノール	
名称等を表示すべき有害物	酢酸イソプロピル	
特定化学物質第1類物質	該当なし	
特定化学物質第2類物質	該当なし	
特定化学物質第3類物質	該当なし	
特定化学物質特別管理物質	該当なし	
第1種有機溶剤等	該当なし	
第2種有機溶剤等	酢酸イソプロピル	98.88%
第3種有機溶剤等	該当なし	
変異原性が認められた既存化学物質	該当なし	
変異原性が認められた届出物質	該当なし	
がん原性物質 (ISHL 第 57-1、 57-2 および 57-3条、施行規則条項 第 577-2-3条)	該当なし	

消防法 第4類引火性液体, 第4類 第1石油類(非水溶性)

毒物及び劇物取締法: 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :(含 該当しない
有率表示は代表値)
(含有率単位が%0 の場合 %0=1/10%)

16. その他の情報

発行日: 21. 04. 2025

注意:

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。